



ご挨拶

— 同窓会の強化・拡充と
母校の一層の発展を願って —



同窓会長
渡辺 惇夫

日増しに秋の深まりを感じる頃となり、恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み上げ、その存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただ

発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇夫

- 綱 領
- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繫と相互扶助

のため努力していかねばなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、実に90有余年の歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして、今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も7年目を迎え、中高一貫教育も着実に実績をあげており、今春、中高一貫生の第一期生が明訓高等学校を卒業しました。

このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と、日頃のご協力の賜物であると共に、加えて学校ご当局の弛まぬご努力と関係者の皆様のご支援とご協力があったのであり、ここに改めて深く感謝の意を表する次第であります。

今後も我々は先輩各位の築いた輝かしい実績と母校の建学の精神を大切に継承しながら母校の卒業生としての誇りを持ち、同窓会と母校の発展

対し新鮮な感動と勇気と自信、そして誇りを与えてくれており、感謝しております。

特に部活動に於きましては、運動部では陸上部、サッカー部、剣道部、弓道部、ダンス部が、文化部では、写真部、放送部等が全国大会出場権を獲

得して大活躍をしております。今、我が同窓会としても、この母校の大活躍に相応しい体質と拡充強化を求められており、それにむけて努力しております。

幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を知ったたくとも、大きな関心を持っていただき、互いに同志的意識を更に高め、協力的

生き物の命 (いのち)



理事長
伴 昭彦

同窓会員の皆様には御元気で御活躍のことと心からお喜び申し上げます。私達が毎日を健康に過ごせて頂いているのは、多くの命 (いのち) を頂いているからなのですが、このことを日常あまり実感していないようです。

私達が普段口にするもので生き物でないものは、私は水だけだと思っていました。私達が、宮澤賢治は水と塩だと言っておられました。何れにしても私達が自分の命を永らえるために食べるものとは、水と塩以外はすべて生き物の

命です。作家で冲方(うぶかた) 丁(とう) という方が居られ、この方は大変な肉好きで、大抵の肉は食べられるのですが、この方が一度、肉を食べられなくなったことがあるそうです。十歳前後の頃ネパールへ行ったときヒンズー教のダサインというお祭りがあったのですが、友人宅の庭にいた一頭の山羊に草をやってたところ、手に鼻面を押つけて熱心に草を食(は)む姿が実に愛らし

制を確立することにより同窓会の活性化と発展に繋げていかななくてはなりません。

先般も、役員会や常任委員会等に於いて、今後の同窓会のあり方や発展の方向性を探り、協議を重ねているところであります。今後共ご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。

最後に母校のますますの発展と、同窓会の皆様をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

かったそうです。その数時間後、裏庭へ連れてゆかれたこの山羊はククリ刀で首を切り落とされたのを見て呆然とし、又、解体されたこの山羊の尻が現れたのですが、これはさつき冲方氏の手から食べた草でした。これを見た冲方氏はショックで草食主義者になる、と言いつつ張ったのですが、肉の味が忘れられず数日後には再び肉を口にしようになったのですが、そうしながら「命」を食べている、という強烈な実感にうたれた、ということでした。命を譲ってもらっているということ、を理屈でなく味覚で理解したといわれます。

法句経というお経の中に「ひとの生をうくるはかたく、やがて死すべきものの、いま生命あるはありがたし」とあります。人間に生まれたということは、お釈迦様は「爪の上における砂である」と言われるのだそうです。爪の上に砂を落としたら僅かしか残らないと言う意味だそうです。そんな尊い命を頂いて生きて

がら頂きたいものです。同窓の皆様のご健康と

御活躍をお祈り申し上げます。

明訓は東大も

甲子園も・・・も



学校長

大滝 祐幸

今春は、中高一貫生の一期生が高校を卒業しました。この一貫生に高入生（高校から入学した生徒）が勉学面で大きく刺激され、皆さんもご承知のように、双方合わせて大学進学で大変すばらしい結果を残すことができました。

また、この卒業生達は、野球部が甲子園に出場して立派な戦いをしてきたこと、陸上部が女子駅伝で京都の街を走り抜けてきたことを始め、スポーツや文化系活動でも各種の大会等ですばらしい成果を見せてくれました。まさに文武両道の姿を生徒達は県内外に示してくれたのです。

ところで、新潟駅万代口の改札の上部に、従来から明訓の「広告」があるのをご存知でしょうか。今春、六年ぶりにこの内容を変え、今年の本校のスクールスローガン（キャッチコピー）である「明訓は 東大も甲子園も・・・も」を掲げました。

明訓は様々な目標を持った生徒がいて、様々な目標を実現する学校なのです。今年度も既に剣道部、陸上部、サッカー部を始め、多くの部が全国大会で活躍しています。また、昨年度の生徒による学校評価を見ますと、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」という生徒が前年度の八十四%から九十%へ、「明訓生として、誇りを持ち学校生活に満足している」という生徒が八十四%から九十一%へと大きく増加しています。

そして、このような生徒を見られて、九十六%の保護者の皆さんから、「子ども達は明訓高校の生徒として誇りに思っている」と評価していただいています。このように、青春時代特有の様々な悩みを持ちながら、学校生活には満足している明訓生、こんな姿を持続できる明訓でありたいと私は思っています。

そのためには、もちろん生徒のがんばりと、その生徒を支え続ける教職員員の努力が必要ですが、この明訓を作り上げ支援し続けていただいている同窓の皆様方に従前にも増して強くご支援いただかなければならないと考えております。これからもどうぞ、よろしくお願ひいたします。

グローバル教育をめざして、明訓高等学校より報告

グローバル教育の一貫として

本校の教育方針としてグローバル教育を目指し、

し、将来社会に貢献できる人材を育てることを考えております。大きな行事としましては昨年までは進学セミナー（大学の先生による模擬講義）や

難関大セミナー、医学部進学セミナー、IVコースの高1でのカナダ研修、などを行ってきました。さらに今年の3月にはアメリカ研修、8月にエンパワーメントプログラムを新たに行いました。具体的にどのようなことを行ったのかをご報告い

第1回「エンパワーメントプログラム」の実施

平成25年8月5日〜9日の五日間にかけて、第1回「エンパワーメントプログラム」が実施されました。多くの希望者から選ばれた高校一・二年生の生徒約80名が参加しました。大学世界ランキングでも上位に位置するカリフォルニア大学バークレー校を含むいくつかの大学から、16人の留学生を本校に招待し、その留学生たちと共に、生徒たちは五日間英語漬けの日々を送りました。また、留学生たちは本校生徒の自宅にホームステイをしながら日本人家族との交流も深めました。

このプログラムは、実践的な英語力を身に付けることができただけではなく、グローバルな視点やポジティブな物事のとらえ方を学ぶことができ、全国的にも例を見ない自己啓発体験プログラムです。生徒たちは留学生とグループを作り、「ポジティブシンキング」「震災復興への取り組み」「高齢化社会の諸問題」等のテーマについてのディスカッションやプレゼンテーションを行いました。最終日には、一人で行うプレゼンテーションにも挑戦しました。



プログラムの始まる前の生徒たちは、期待しながら準備を進める一方で、自分たちの英語が通じるのか、留学生とはう

まぐやっつけていけるだろうかといった不安も同時に抱えていました。しかしプログラムが開始した後は、徐々に英語で話すことにも慣れ、毎日を生き生きとした表情で、留学生たちとの活動を楽しんでいました。プログラム終了後のアンケートでも非常に満足度が高く、「ポジティブになれた」「今までの考え方が覆された」「留学生のように自分ももっと積極的になろうと思った」など、生徒が前向きな感想を持っていることが分かりました。

今後このプログラムを通じて、多くの生徒が異なる文化や考え方に触れ、世界に目を向けるようになっていきたいと思います。

アメリカ研修の報告

担当 柴岡友洋

今年の3月9日〜3月19日の11日間、明訓高校で初めてのアメリカ研修が行われました。研修の場所は、アメリカ合衆国の東海岸マサチューセッツ州の州都ボストンと国際金融の中心地ニューヨークです。研修の主な目的は、世界的な視野で進路選択の幅を広げて学習意欲を高めること、異文化理解とともに日本文化への理解を深めること、リーダーとしての資質を



ハーバード大学にて撮影
質問し、さまざまな話を聞いていました。体力的にも精神的にも厳しい研修でしたが、事故もなく、また途中で体調を崩す生徒もおらず無事に帰国しました。帰

リダーとしての資質を磨くことです。英語の試験などで選抜された28名の1年生(現2年生)が参加しました。初日は飛行機のトラブルで成田空港を出発できず日本に足止めされるというアクシデントに見舞われましたが、2日目以降は濃密なスケジュールの中で、集中して語学研修や大学見学に臨んでいます。ボストンには7日間滞在し、そこで訪れた大学は、マサチューセッツ工科大学とハーバード

大学です。どちらも日本人の学生に案内をしてもらい、生徒はさまざまな質問をしていました。ニューヨークでは、3日間滞在し、国連本部や世界貿易センタービルの跡地であるグラウンドゼロ、メトロポリタン美術館、エンパイアステートビルなどを見学しました。また、ニューヨークで働く3名の日本人を招いて食事会を行い、人生や仕事について生徒は積極的に

相撲部OB

母校に石碑寄贈

去る7月30日、昭和20年に創部、恩師石附監督のご逝去に伴い昭和41年には廃部になり

ましたが、この期間、全国に明訓の名を知らしめ輝かしい活躍した相撲部のOB会(高野



出席者全員で記念撮影

関西新潟明訓会平成25年総会が10月5日(土)午後12時30分より大阪市都島区網島町の「太閤園」で開催されました。同窓会本部からは大倉副会長、首都圏からは秋葉正樹会長、奥田副会長が出席。学校からは竹之内副校長がご出席され、総勢26名での開催となりました。総会では本間会長のご挨拶ではじまり、来賓祝辞として大倉副会長、秋葉首都圏会長、竹之内副校長からは母校の近況などもご紹介いただきました。その後、会

平成25年関西新潟明訓会 総会・懇親会を開催



石碑の背後に「ヤマボウシ」3本。

忠助会長、会員75名)の方々が母校への思いを是非残したいと、本

校の中庭に石碑とヤマボウシ3本を寄贈されました。相撲部の統括事業本部長の昭和38年卒の田村弘昭三さんのご尽力もあり、安田御影石に刻まれた「明訓魂を後生に」の言葉は相撲部の伝統と明訓に対する熱い意気を感じられます。大変ありが



相撲部OB会より寄贈された「石碑」

とうございました。在校生にも先輩の方々の意気込みが感じられる記念の品ができました。

務、会計報告。平成25年度予算、役員改選、他が協議され、すべて承認されました。

総会終了後の懇親会では、恒例となった新潟の銘酒「越乃寒梅」が振舞われ、年代を超えての交流を深め楽しいひと時を過ごしました。終わりに、校歌を声高らかに斉唱して次回の再会を約束し閉会となりました。その後、有志十数名で場所を変え更なる親交を深め、甲子園での再会を誓いました。今年も3名の初参加の方を迎え、会員の掘り起しは確実に前進していますが、毎年出席される固

首都圏新潟明訓会 設立25周年記念総会・懇親会開催

定会員数がまだまだ少ないのが今後の課題に挙げられます。今後とも更なる会員の掘り起こしを推し進め、若い同窓生の皆

様に継承していかねばなりません。関西圏にお住いの同窓生の皆様、是非一度ご参加ください。お待ちしております。

首都圏新潟明訓会の「設立25周年記念総会懇親会」が、平成24年11月3日(土)午後1時から、帝国ホテル「蘭の間」において行われました。

母校後輩達の活躍ぶりを紹介したDVDが放映される中、卒業年度の違いを超えて再会を喜ぶ、話の華が咲いていました。S51年卒の古金莊一・星野陽一両氏の司会で総会が始まり、秋葉正樹会長(S46年卒)の挨拶に引き続き、会長・役員の内任等承認されました。



秋葉正樹会長挨拶



鎌田甚四郎さんの音頭で乾杯

その後、懇親会に移り、来賓の方々から、ごあいさつをいただいた後、この日の出席者中、最高齢のS18年卒鎌田甚四郎

その後、懇親会に移り、来賓の方々から、ごあいさつをいただいた後、この日の出席者中、最高齢のS18年卒鎌田甚四郎

さんの音頭で乾杯し、歓談へと進行しました。本部持参の「越の寒梅」を味わいながら、今年もS56年卒の熊倉由美さんのジャズタイム。いつも熊倉さんの伴奏をつとめてくださる、渡辺かづきさんのオリジナル曲ピアノソロ演奏もありました。その後、恒例の幹事景品提供による福引、初参加者の自己紹介、校歌斉唱と続き、S26年卒初代首都圏新潟明訓会会長藤間健彦さんの中へ、S43年卒皆川治副会長のメの音頭でお開きとなりました。総会・懇親会終了後、有志20名ほどで首都圏新潟明訓会幹事の「憩いの場」「うまいものやたらう」へと場所を変え、更なる親交を深めました。



懇親会風景

学 校 高 案 内



過去4年間の合格者推移

国公立大学	2009		2010		2011		2012		2013	
	現役	既卒								
北海道	3				2	1	6		1	
東北			1	1	3	1	2		3	
山形	7	3	2	3	7		7	1	4	
福島	2		2		4		2		1	
筑波	4		1		4		3		4	
埼玉			1		2		2		2	1
千葉	2		2		1				5	
お茶の水	1		1	1					1	
電気通信	1				1				1	
東京		1							3	
東京学芸	2				1		3		4	
東京農工			1	1	1	1				
東京工業					1				2	
一橋			2							
横浜国立	1		3				1		1	
新潟	56	6	58	9	36	12	67	6	51	8
長岡技術科学	1		1		3		2		1	
上越教育	6			1	3	1	2		3	2
富山	3	1	1		2		3	1	1	
金沢	3		3	1	1		2	2	1	1
信州	4				2		3		1	
京都				1		1			1	
大阪									1	
高崎経済	1		1	1	10		5	3		1
首都大東京	3	2	2			1	2	1	3	
横浜市立									3	
新潟県立	15	4	15	4	15	2	21	4	21	3
新潟県立看護	3		6		4		5		4	1
都留文科			1		1				1	
その他	23	3	12	1	18	4	17	4	18	4
小計	141	20	114	26	121	25	155	22	142	21
国公立合計	161		140		146		177		163	

私立大学	2009		2010		2011		2012		2013	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科									2	
早稲田	10	5	4	2	8	6	1	3	13	2
慶応	1	2			4	3			2	
上智				1	1				3	
東京理科	5	2	5		3	3	4	4	3	1
明治	19	5	13	4	13	3	8	1	16	4
立教	11	9	10	6	15	7	7	2	14	1
青山学院	6	5	1	1	9	4	7		5	1
中央	15	4	20	4	17	2	18	2	12	5
法政	13	11	12	4	10	5	9	3	11	7
学習院	2	1	1		2	3	1		4	1
東京農業	5	1	3	2	5	2	1	2	3	1
津田塾	1		2	1					2	
北里	4	1	5	2	4	1	4	2	4	1
芝浦工業	6		7	3	3	1	3	3	3	
成蹊	6	2	2	1	4	4	2		2	1
成城	4	3	4	1	2	1		2	4	
日本	37	11	28	15	28	4	45	2	35	5
東洋	9	10	10	5	18	5	14	5	18	1
駒沢	8	3	12	3	10	7	20	4	20	3
専修	10	3	20	1	11	3	16	4	18	1
明治学	15	4	8	2	7	3	6	2	11	2
獨協					6	2			9	7
神奈川	19	4	18	1	9	4	18	3	7	1
新潟薬科	36	1	21		28		27		29	3
同志社	2	1	4		5	1	2	3	7	
立命館	5		3		5	2	4	5	12	2
関西	3		2		4		1		1	
関西学院	3		2		1				1	
その他	228	35	240	41	205	40	289	33	248	33
小計	483	122	457	100	436	117	507	85	519	83
私立合計	605		557		553		592		602	

進学指導部
超難関・難関大学の現役
合格過去最高の入試結果

最近の入試状況と 本校の概況

全国の入試状況
昨年度のセンター試験は平均点が大幅ダウンしました。7科目受験者(900点満点)の平均点は昨年と比べて文系で40点、理系で34点ダウンし、特に国語17点、数学ⅠA 19点と大きくダウンしました。
国立大学入試は、2次試験出願数が49.0万人と

一昨年比0.5万人減となり、志願倍率4.8倍となりました。今年も、「安全・地元・資格」傾向が、文低理高がより鮮明になっていきます。
私立大学入試は、センター試験の難化と安全志向の影響で、私立大の併願公を増やす傾向になりました。その影響もあり、

平成25年度入試 (現役)	東京	京都	北海道	東北	名古屋	大阪	東工	筑波	新潟医学	早稲田	慶應	上智	自治医科	難関大学 合格数合計	
														11	37
ⅠⅡⅢコース		1		3	1					3	1	2		11	37
Ⅳコース	3		1			1	2	4	1	10	1	1	2	26	

私立大学全体で志願者が増加しました。
本校の入試状況
本校の入試は、センター試験難化の影響をものともせず大変すばらしい結果となりました。特に、東京大学3、京都大学1、東工大2、医学科3など難関大学合格者数は、コース問わず、国立大学、私立大学ともに健闘し、過去最高の入試結果となりました。
目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前の学習(予習、授業、復習)を地道に行い、入試問題に対して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。また、入試で成功するための最も効率的な学習方法は、日々の地道な学習(予習、授業、復習)であり、それ以外の効率的な学習方法など存在しないことを証明してくれました。
在校生は、この結果を励みとし、学習への取り組み方を学び、25年度入試以上の結果がでるものと確信しています。現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思っております。

体育祭

今年の総合優勝は「ピシク連合」！ 中学優勝は、「白連合」！

去る9月10日、今年度で5回目となる平成25年度体育祭が、晴天のもと盛大に開催されました。

今年度はいろいろな変化がありました。高校はこれまで4連合編成でしたが、3連合の編成へと変化しました。(今年は、黄軍・ピンク軍・黒軍の高校



応援風景



障害物競走でのお姫様だっこ

3連合と、赤軍・白軍の中学2連合で実施。また、生徒会執行部が積極的に生徒の意見を取り入れ、「借り人競走」と「騎馬戦」を新たに実施しました。当日の進行や運営も、これまで教員主導だったものから、生徒会執行部を中心とした生徒主導の体育祭へと移行し

始めました。変化と挑戦は表裏一体です。そして挑戦には不安が付きまといます。たくさんの不安を抱えてスタートした今年の体育祭でしたが、連合長の3人のリーダーシップとパートナーシップ、会場設営や後片付け等の裏方に徹してくれた陸上部・サッカー部・ダンス部の協力、中学生の統制の取れた動き、全校生徒の「体育祭を楽しもう」という気持ちなど、様々な力が結集し、当日は見事、成功裏に終了することができました。

生徒たちは、校訓にある「自治・協力・奉仕」を様々な場面で体現してくれました。明

訓生のもつ大いなる可能性に、胸の高鳴りを感じた、暑い暑い一日となりました。

平成二五年度

明訓祭

平成25年6月8日開催

本祭では、各文化部の展示・発表が日頃の成果のもと披露され、

- ☆明訓大賞 三年九組 (門)
- ◎教室展示 二年六組
- ◎教室演劇 二年二組
- ◎映画 二年一組
- ◎ステージ 三年六組
- ◎屋外アート 三年四組
- ◎奨励賞 一年十組

なる模倣ではなく、工夫を重ねた創造的なものを目指したレベルの高い内容となりました。主な結果は次の通り。

前日の前夜祭では、本校卒業生でプロとして歌やピアノ、アレンジ、プロデュースなどの幅広い活動をしている長谷川さんのミニライブが行われ、生徒たちはしっとりとしたピアノ弾き語り聞き入っていました。また、その後行われたリバイススクエアでは、生徒有志によるパフォーマンス大会も行われ、プロ顔負けのステージに皆大いに盛り上がりました。

現では、教室演劇部門・映画部門・映教室展示部門・屋外アート部門・ステージ部門・中学校部門にそれぞれ分かれて発表・展示が行われました。どの部活、クラスも単



明訓大賞の「門」3年9組

思い出残る 修学旅行

高校第二学年は、八月二十八日から三十一日まで、広島・京都を巡る三泊四日の修学旅行に行つてまいりました。

第一日目に訪れた広島は、残暑どころかまだ夏の盛りを思わせる強い日差しが照りつけていました。本校の講堂で、前日に原爆投下当日の再現映像を見たこともあつてか、生徒たちは、平和記念公園のモニUMENTや

資料館の生々しい遺品などを真剣な眼差しで見っていました。

夜は、宿舎である格蘭ドプリンスホテル広島で、白石多美子さんから被爆体験をお聞きしました。白石さんは現在七十四歳で、小学一年生の時に教室の中で被爆されました。お話は戦争の悲惨さと原爆の恐ろしさを訴えて余りあるものでしたが、マナーよく真剣に聞き入る明訓生の態度



広島原爆ドーム



厳島神社

に、白石さんはとても感激されていました。平和とは？ 生きるとは？ 戦争を知らない若い世代の使命とは？ 生徒たちは、大

切な課題をそれぞれにしつかりと受け取ったようで、「修学」の名になりまして。

部活動報告

各科目覚ましい活躍

〔運動部〕

◎剣道部

《第17回東志新瀧高等学校剣道大会》
4/28 三条市総合体育館

- 男子 準優勝(2位)
- 女子 1回戦敗退

《第15回佐渡正杯争奪高等学校剣道大会》
5/3~5 聖籠町民会館

- 男子 1回戦敗退
- 女子 2回戦敗退

《平成25年度新潟県高等学校春季地区大会新潟地区剣道大会》
5/10~11 新潟市体育館

- 男子個人 新飯田 第2位
- 中沢 第3位
- 熊倉 第3位
- 以上3名県総体進出
- 男子団体 第3位
- 女子団体 第3位

《新潟県高等学校総合体育大会兼平成25年度全国高等学校総合体育大会新潟県予選会》
5/31~6/2

- 男子団体 優勝
- (インターハイ出場)
- 女子団体 3位
- (北信越大会出場)

《平成25年度北信越高等学校剣道大会》
6/14~16 敦賀市総合体育館

- 男子団体 ベスト8
- 女子団体 予選リーグ敗退
- 男子個人 熊倉 茂喜 1回戦敗退
- 新飯田悠太 2回戦敗退

《平成25年度玉竜旗高校剣道大会》
7/22~30 マリンメッセ福岡

- 男子 6回戦敗退
- ベスト32
- 女子 3回戦敗退

《第27回河井継之助記念蒼龍旗争奪剣道大会》
8/18 長岡市市民体育館

- 男子団体 ベスト16
- 女子団体 準優勝

《平成25年度秋季新潟地区剣道大会》
9/6~7 新潟市体育館

- 男子団体 第2位
- 男子個人 ベスト8
- 田中 和真、早川 郁也、増井龍太郎
- 女子団体 第3位
- 女子個人 野口 海奈

◎陸上競技部

《新潟市陸上競技選手権大会》
4/28~29 新潟市陸上競技場

- 男子 砲丸投げ 第1位 平尾 大也
- 110MH 第2位 早福 由晴
- 石塚 健皓 第3位
- 4×100MR 第2位

- 女子 笠巻健斗・林和正・神保 貴史・石塚健皓
- 200M 第1位 浅香万由子
- 1500M 第2位 原澤 萌加
- 4×100MR 第3位

《平成25年度新潟・下越地区陸上競技大会》
5/6~8 新潟市陸上競技場

- 男子 800M 第1位 花岡 一臣
- 110MH 第1位 石塚 健皓
- 第2位 早福 由晴
- 砲丸投げ 第1位 (大会新)
- 平尾 大也
- 第7位 菊池 圭平
- 100M

- 第2位 石塚 健皓
- 第6位 笠巻 健斗
- 4×1000MR
- 第2位 笠巻健斗・林 和正・笠原弘貴・石塚健皓
- 4×4000MR
- 第2位 熊谷亮汰・三澤駿之介・花岡一臣・山本明日香
- 8種競技
- 第2位 青木 太郎
- 2000M
- 第4位 笠巻 健斗
- 4000M
- 第5位 三澤駿之介
- 第7位 熊谷 亮汰
- 4000MH
- 第5位 早福 由晴
- 女子
- 4000M
- 第1位 (大会新) 出塚 千恵
- 3000M
- 第1位 原澤 萌加
- 第2位 加藤 智子
- 1000M
- 第2位 浅香万由子
- 第8位 高橋 佳奈
- 2000M
- 第2位 (大会新) 浅香万由子
- 第4位 出塚 千恵
- 8000M
- 第2位 矢川 湖都
- 第5位 土田 杏奈
- 15000M
- 第2位 土田 佳奈
- 第6位 渡辺 彩

- 4×1000MR
- 第2位 泉井梨央・浅香万由子・出塚千恵・高橋佳奈
- 4×4000MR
- 第2位 高橋佳奈・出塚千恵・浅香万由子・山崎里香
- 1000MH
- 第3位 山崎 里香
- 第5位 鈴木 多恵
- 4000MH
- 第5位 山崎 里香
- 第6位 鈴木 多恵
- 第7位 波間 早桃
- 走高跳
- 第5位 吉沢 幸花
- 円盤投
- 第8位 森川絵美子
- 《全国高等学校総合体育大会新潟県予選会陸上競技大会 5/24~27 東北電力ビッグスワンスタジアム》
- 男子
- 砲丸投
- 第1位 (大会新) 平尾大也
- 第2位 菊池 圭平
- 1000M
- 第2位 石塚 健皓
- 1100MH
- 第2位 石塚 健皓
- 4×1000MR
- 第2位 笠巻健斗・林和正・神保貴史・石塚健皓
- 2000M
- 第3位 笠巻 健斗
- 第8位 神保 貴史

- 8種競技
- 第3位 青木 太郎
- 第5位 花岡 一臣
- 4×4000MR
- 第3位 三澤駿之介・熊谷亮汰・花岡一臣・神保貴史
- 4000M
- 第8位 三澤駿之介
- 女子
- 第1位 (大会新) 出塚 千恵
- 2000M
- 第2位 浅香万由子
- 第4位 出塚 千恵
- 円盤投
- 第2位 森川絵美子
- 4×1000MR
- 第2位 鈴木多恵・浅香万由子・出塚千恵・高橋佳奈
- 4×4000MR
- 第2位 山崎里香・出塚千恵・浅香万由子・高橋佳奈
- 1000M
- 第3位 浅香万由子
- 15000M
- 第3位 土田 佳奈
- 30000M
- 第3位 原澤 萌加
- 第6位 加藤 智子
- 8000M
- 第4位 矢川 湖都
- 第4位 土田 杏奈
- 4000MH
- 第6位 山崎 里香
- 第7位 鈴木 多恵

- 《新潟県高校生1年生大会 7/20 柏崎市宮陸上競技場》
- 男子
- 8000M
- 第1位 花岡 一臣
- 4000M
- 第3位 小熊 崇矢
- 女子
- 15000M
- 第1位 土田 佳奈
- 第3位 矢川 瑚都
- 円盤投
- 第1位 森川絵美子
- 4000M
- 第2位 卷口 美穂
- 8000M
- 第2位 土田 杏奈
- 1000MH
- 第2位 鈴木 多恵
- やり投
- 第2位 小野塚未夏
- 《全国高等学校総合体育大会陸上競技会 7/30~8/3 大分銀行ドーム》
- 女子
- 4000M
- 第7位 出塚 千恵
- その他
- 男子
- 1000M
- 準決勝進出 石塚 健皓
- 女子
- 2000M
- 準決勝進出 浅香万由子
- 《北陸陸上競技選手権大会 8/24~25 新潟市宮陸上競技場》
- 男子
- 砲丸投

- 第2位 平尾 大也
- 4×4000MR
- 第5位 三澤駿之介・熊谷亮汰・笠原弘貴・神保貴史
- 女子
- 4000M
- 第1位 出塚 千恵
- 1000M
- 第7位 石塚 健皓
- 《秋季新潟・下越地区陸上競技大会 9/6~7 胎内市総合グラウンド陸上競技場》
- 男子
- 1000M
- 第1位 小林 廉
- 4000MH
- 第1位 早福 由晴
- 砲丸投
- 第1位 菊池 圭平
- 8種競技
- 第1位 (大会新) 青木 太郎
- 1100MH
- 第2位 早福 由晴
- やり投
- 第2位 菊池 圭平
- 4×4000MR
- 第3位 乙川侑正・熊谷亮汰・花岡一臣・小熊崇矢
- 4×1000MR
- 第4位 乙川侑正・熊谷亮汰・小林 廉・早福由晴
- 2000M
- 第5位 熊谷 亮汰
- 8000M

- 第5位 花岡 一臣
- 4000M
- 第7位 熊谷 亮汰
- 第8位 小熊 崇矢
- 三段跳
- 第8位 上田 泰輝
- 女子
- 15000M
- 第1位 土田 佳奈
- 第4位 矢川 瑚都
- 円盤投
- 第1位 森川絵美子
- 8000M
- 第2位 土田 杏奈
- 1000MH
- 第2位 山崎 里香
- 4×4000MR
- 第2位 卷口美穂・高橋佳奈・山崎里香・土田杏奈
- 30000M
- 第3位 五十田 楓
- 4000M
- 第4位 鈴木 桃夏
- 4000MH
- 第4位 高橋 佳奈
- 砲丸投
- 第4位 山崎 里香
- やり投
- 第5位 森川絵美子
- 第5位 小野塚未夏
- 《平成25年度春季新潟地区サッカー大会 5/8~10 本校グラウンド 鳥屋野球技場》
- 2回戦 対 向陽高校
- 3-0

準々決勝 対 北越高校
2-1
準決勝 対 新潟工業
1-1 (PK 3-4)
ベスト4

(総体出場権獲得)

《新潟高等学校総合体育大会》
サッカー競技大会 5/27・28・30・
6/1・2 刈羽ピアパーク
鳥屋野球場・五十公野陸上競技場

1回戦 シード

2回戦 対 長岡高校

1-0

3回戦 対 新発田高校

6-0

準々決勝 対 新潟工業

1-1 (PK 4-2)

準決勝 対 帝京長岡

2-0

決勝 対 新潟西

1-0 優勝

北信越大会・インターハイ
出場権獲得

《平成25年度北信越

サッカー大会 6/14・16

刈羽ピアパーク

1回戦 シード

準々決勝 対

富山北部高校

3-0

準決勝 対 星稜高校

1-3

第3位

◎野球部

《第128回北信越地区高等学校野球

新潟県大会 5/11・13

柏崎市佐藤池球場

長岡市宮久山球場

2回戦 対 新潟西

12-2

3回戦 対 東京学館新潟

10-3 (8回コールド)

4回戦 対 糸魚川

3-0

準々決勝 対 村上桜ヶ丘

8-9 (延長10回)

ベスト8

◎弓道部

《春季新潟・下越地区弓道大会

4/30 新津地域学園弓道場

・個人男子 第3位

松本 諒 8射7中

・団体男子 第4位

40射17中

・団体女子 第6位

40射17中

《新潟県高校総体兼全国高校総体

新潟県予選会弓道大会 6/1・3

新津地域学園弓道場

・個人女子 準優勝

古田島花菜

インターハイ、北信越大会

の出場権獲得

全国大会(インターハイ・

全国選抜)に3期連続出場

・団体女子 第3位

阿部雪妃・吉田留菜・

南場千佳・古田島花菜

多賀優華・百瀬生萌

山岸里菜

北信越大会の出場権獲得

(H14以来11年ぶり2回目)

《第43回北信越高等学校

弓道大会 6/14・15

富山県射水市大島弓道場

女子団体 優勝

阿部雪妃・多賀優華・

吉田留菜・古田島花菜・

南場千佳・百瀬生萌・

山岸里菜

予選合計21中↓通過

決勝トーナメント

1回戦 対 武生(福井)

14-10

準決勝 対 小松(石川)

10-7

決勝 対 野沢南(長野)

15-13

・女子個人

予選(4射皆中)

多賀優華、吉田留菜が通過

決勝(射詰め)

多賀×

吉田○○○○○×

準優勝

《国体選手最終選考会 7/20

新津地域学園弓道場

阿部 雪妃

国体少年女子の部選手に

選出

《全国高等学校弓道大会

8/1・3

西日本総合展示場特設弓道場

・女子個人

古田島花菜

4射2中 ↓ 予選敗退

《北信越国民体育大会弓道競技

8/24・25 新津地域学園弓道場

・新潟県少年女子

阿部 雪妃

遠的3位・近的3位

総合3位

《秋季新潟・下越地区弓道大会

9/18 新津地域学園弓道場

・女子個人

第3位 多賀 優華

8射5中

女子団体 第4位

24射12中

◎バドミントン部

《平成25年度新潟県高等学校春季地区

体育大会新潟地区バドミントン部大会

5/4・5 吉田総合体育館

・男子ダブルス

初回戦敗退

桑野・江部、三村・山本、

宮島・永木、羽田野・圓山

2回戦敗退

水野・長谷川

シングルス

初回戦敗退

江部圭祐、水野康平

2回戦敗退

桑野公成

ベスト32

宮島 遼、永木 太郎

《平成25年度新潟県高等学校春季地区

体育大会新潟地区バドミントン部大会

5/4・5 吉田高等学校体育館

・女子ダブルス

初回戦敗退

藍木・永野

2回戦敗退

神丸・本間

初回戦敗退

藍木爽香、永野鈴佳、

神丸玲奈

2回戦敗退

清水結希、本間理紗

《春季新潟県大会バドミントン競技会

5/24・26 新発田カルチャーセンタ

1サンビレッジしばた

第66回新潟県高等学校総合体育

大会女子バドミントン競技大会

2回戦敗退

《新潟県高等学校総合体育大会

バドミントン競技会

5/31・6/2 鳥屋野体育館

・男子学校対抗戦

1回戦 対

上越総合技術高校

0-3

《第22回新潟支部

バドミントン大会 7/21

鳥屋野体育館

・1年女子シングルス

清水 結希 ベスト16

・2年女子シングルス

神丸玲奈 初回戦敗退

女子ダブルス

本間・藍木 ベスト16

《第23回新潟支部高校

1・2年生大会 8/24

五泉市総合体育館

・1年男子の部

ベスト4 井上 奨

ベスト8

渡部雅也、堀川将太

・1年女子の部

優勝 清水 結希

準優勝 藍木 爽香

・2年女子の部

優勝 神丸 玲奈

ベスト4 本間 理紗

◎テニス部

《全日本ジュニアテニス選手権大会

下越地区予選大会 4/13・14

新発田市五十公野公園テニスコート

・男子ダブルス

ベスト4 猪飼・目黒

女子ダブルス

ベスト4 坂上・泉田

県大会出場

ベスト8 本田・小泉

ベスト16 小出・捧

シングルス

ベスト4 泉田 舞

県大会出場

ベスト8 坂上 楓花

ベスト16 本田 史佳

《平成25年度新潟県高等学校春季

下越地区テニス大会 4/30・5/1

新発田市五十公野テニスコート

・男子シングルス

ベスト16 猪飼 大智

ベスト8 目黒 幹也

渡邊 龍哉

ダブルス

ベスト8 猪飼・目黒

ベスト8 渡邊・向井

《新潟県高等学校総合体育会
テニス大会 5/31〜6/2
南魚沼市大原運動公園テニスコート》
・団体戦 ベスト16
・ダブルス
猪飼・目黒ペア
1回戦敗退

渡邊・向井ペア
1回戦敗退
・シングルス
向井 1回戦敗退
渡邊・猪飼 2回戦敗退

・女子団体戦 2回戦敗退
・ダブルス
初戦敗退 坂上・泉田
本多・小泉

・シングルス
初戦敗退 坂上 楓花
本田 史佳
3回戦敗退 泉田 舞
ベスト32

《全国選抜高校テニス大会一次予選
8/21〜22 新潟市庭球場》
・男子団体戦 第4位
県大会に出場

《秋季下越地区テニス大会
8/29〜30 五十公野公園テニスコート》
・男子ダブルス
ベスト4 向井・杉山
・シングルス
ベスト8 向井 諒成
ベスト16 杉山 康太

《平成25年度春季下越地区テニス大会
4/30〜5/1 胎内市
国際交流公園テニスコート》
・女子ダブルス
第2位 坂上・泉田
県大会出場
ベスト8 本田・小泉
県大会出場

・シングルス
第2位 本田 史佳
県大会出場
ベスト8 泉田 舞
県大会出場

《平成25年度秋季下越地区テニス大会
8/29〜30 胎内市
国際交流公園テニスコート》
・女子シングルス
ベスト8 江田 諒子
県大会出場

《平成25年度新潟県高等学校テニス
選手権大会 9/21 南魚沼市
大原運動公園テニスコート》
・女子シングルス
初戦敗退 江田 諒子

《新潟下越佐渡地区
水泳競技大会 5/23
西海岸市営プール(屋内)》
女子
・500M自由形
第2位 渡辺 愛理
・200M個人メドレー
第1位 渡辺 愛理
大会新

《新潟県高等学校総合体育大会兼全
国高等学校総合体育大会新潟県予選
会 6/1〜2 柏崎総合体育館》
1回戦 対 中越高
46―3

男子
・500M自由形
第5位 吉野 万作
《新潟県高等学校選手権水泳競
技大会 6/15〜17 ダイエー
プロビスフェニックスプール》
女子
・1000M平泳ぎ
第8位 渡辺 愛理
・200M個人メドレー
第1位 渡辺 愛理

《北信越高等学校選手権
水泳競技大会 7/19〜21
小松運動公園末広屋
屋外水泳プール》
女子
・200M個人メドレー
第7位入賞

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

準決勝 対 柏崎高
22―19
決勝 対 柏崎工業
10―23
準優勝
第49回北信越高校選手権
進出

《第49回北信越高等学校
ハンドボール選手権大会
6/14〜15 富山市総合体育館
八尾スポーツセンター》
1回戦 対 長野南高校
14―18

《平成25年度新潟県高等学校春季地区体育
大会新潟地区バスケットボール競技大会
4/27〜29 新潟第一高校・新潟市体育館》
27日・新潟第一高校
28・29日・新潟市体育館

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

《平成25年度新潟県高等学校
春季ハンドボール大会
4/28〜29 新潟江南高校》
・リーグ戦
新潟明訓 対 長岡大手
26―10
新潟明訓 対 柏崎
20―15
決勝
新潟明訓 対 柏崎工業
11―24 地区大会2位

《新潟県高等学校総合体育大会
バスケットボール競技会
5/31〜6/2 長岡向陵高校・
長岡市市民体育館・
シティホールプラザアオーレ長岡》
女子ベスト16

《新潟地区春季バレーボール大会
4/27〜29 黒埼地区総合体育館》
男子
1回戦 対 新潟江南
2―0
2回戦 対 新潟南
1―2

《新潟県総合体育大会
男子バレーボール大会 5/25》
1回戦 対 正徳館
2―0
2回戦 対 巻
0―2

《春季新潟地区バレーボール大会
4/28 黒埼地区総合体育館》
女子
1回戦 対 白根
0―2

《第66回全日本バレーボール高等学校
選手権大会新潟地区予選会
8/11 新潟県立巻高校》
女子
1回戦 対 白根
2―0
2回戦 対 新潟
0―2

《第66回全日本バレーボール高等学校
選手権大会新潟地区予選会
8/11 新潟県立巻高校》
女子
1回戦 対 白根
2―0
2回戦 対 新潟
0―2

《春季新潟地区高校卓球大会
5/5〜6 新潟市鳥屋野体育館》
・男子シングルス
ベスト16 深澤 周平
ベスト32 松原 亮太
ベスト32 星井 歩夢
桜木・南3回戦
白瀬・池田・小林2回戦
浅見1回戦敗退
・女子シングルス
ベスト32 小林萌恵子
ベスト32 小林萌恵子
(県大会出場)

《春季新潟県卓球大会 6/1〜2
新発田市カルチャーセンター》
・男子ダブルス
深澤・松原 4回戦敗退
池田・南 3回戦敗退
・男子シングルス
深澤 2回戦敗退
松原 1回戦敗退
・女子シングルス
小池 1回戦敗退

《第66回新潟県総合体育大会兼第
26回全日本高校・大学ダンスフェ
スティバル(神戸)予選会
6/1〜2 新発田市市民文化会館》
優秀賞受賞

【文化部】

◎将棋部

《平成25年度新潟県高文連第22回将棋大会兼第37回全国高総文祭県予選文化連盟将棋大会》
5/11 新潟高等学校

・個人戦

決勝トーナメント進出 川上
準々決勝進出 磯野

◎写真部

《平成25年度新潟県高文連写真専門部主催第17回撮影大会》
5/23/25
相川やまき、佐渡島内各地

奨励賞 小野 結可

《第37回全国高等学校総合文化祭(写真部門)》7/31/8/4
(写真部門)

長崎歴史文化博物館
奨励賞 栗原 志穂

◎放送部

《NHK杯全国高校放送コンテスト新潟県予選》6/19
新潟市音楽文化会館

・アナウンス部門

第1位 高井ありす
第5位 岡田 佑

・朗読部門

第3位 永松 梨奈
第6位 青木 かな
テレビドキュメント部門
第1位

「繋げ！心の絆を未来まで」
ラジオドラマ部門
第3位

「マリーゴールド」

《第60回NHK全国高校放送コンテスト》
7/22/25 NHKホール

準々決勝にて敗退
高井、岡田、永松、青木、佐々木

《第37回全国高等学校総合文化祭(放送部門)》
7/31/8/4 諫早文化会館

特になし

《第54回新潟県吹奏楽コンクール》
8/2 新潟市民芸術文化会館

高等学校Aの部にて金賞
県代表として西関東吹奏楽コンクールに出場

《第19回西関東吹奏楽コンクール》
9/7 新潟市民芸術文化会館

全国大会への道

陸上競技部

出塚千恵

7月30日から8月3日まで大分県で行われた北部九州高校総体に出演してきました。高校入学時からの目標であったインターハイの入賞を果たすことができ、言葉で簡単に表現

しきれないほどの達成感を味わうことができました。振り返ると自分の可能性に賭けて、一年の秋に400mを始めました。全国大会出場もほど遠い状況が1・2年生と続きました。元々、競技実績のない私は、目標に見合っ



7月号 陸上競技 月刊 P149 掲載写真

た努力の方向性や量を理解しておらず、目標を達成したいとは思いつつも漠然と日々を過ごしてきた二年間だったとも言えます。しかし、最後の冬季練習には、生まれ変わるという覚悟で、練習はもうろん日々の生活の一つ一つ丁寧に取り組みることができました。取り組んだことの中で無駄なことは全くと断言できるくらい、やり切り、私自身の未熟な人間性も成長できたと思います。このことが、すべてインターハイのレースにつながったと確信しています。

特に今年のインターハイでは私の出場した女子400mという競技において、日本選手権で高校生が1・2位を占め、高校新記録が誕生するなど実力的には自分とは別次元のメンバーが揃っていました。しかし、不安な気持ちは全くなく、自分のやってきた走りをすれば、必ず決勝に残れるという気持ちで戦うことができました。それは今ま

での過程を通して得られた自信だけではなく、先生や家族、仲間を支えられ、最高の舞台で一緒に戦っていることを強く意識できたからだと思います。記録が伸びず、辛い時期を過ごした時も、県総体で初めて優勝できた時も、いつもそばで思いを共感してもらい、支えてくれた周りの方々と共に走りきった400m三本でした。

最後に全国入賞へと導いて下さった金子先生をはじめ、支えてくれた仲間や家族、応援して下さい下さった皆様、本当にありがとうございました。



第7位の表彰状

サッカー部
御礼—二年ぶり
五回目のインターハイ

サッカー部顧問 間口亮介

今年の全国高校総合体育大会サッカー大会は福岡県での開催となりました。新潟県からは非常に遠方であり、我々にとっても初めての土地であったため、移動手段や気候の違い等様々な不安を抱えた中で戦いとなりましたが、同窓会の皆様方による物心両面に渡る支援もあって、無事に大会を終えることができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。
新潟県予選では初戦



U-15日本代表に選ばれた加藤君

から苦戦を強いられましたが、メンバーの三年生が一戦一戦ごとに成長してくれ、チーム状態が少しずつ良くなっていききました。そして二年ぶり五回目となる全国総合体育大会に出場することができました。

今年の夏は全国的に暑く、その中でも福岡県は毎日三十五度を下回る事が無く、滞在中はこの気温と湿度との戦いがありました。大会三日前から現地入りし、福岡市内の様々なチームとトレーニングを行うことで何とか

調整を行い、本番を迎えました。

初戦の相手は地元福岡県のチームであり、なおかつ九州大会（こちらで言うところの北信越大会）第二位の強豪、九州国際大附属高校でした。会場となったスタジアムは相手校による全校応援、こちらには完全なアウェイの状態、しかし、新潟県から夜通しバスで現地福岡入りし駆け付けてくれた部員たちの応援は、それに勝る迫力あるものでした。私自身試合前からそのことに感動していました。選

手たちはその応援を力に変えて堂々と戦ってくれました。守備陣は相手の攻撃を何とか無失点に抑えてくれましたが、残念ながら結果0対0、P

K戦の末敗退しました。しかし、部員全員が一体となったときのパワーはとてつもなく大きい、と感じることができた大会となりました。

今年是一年生の加藤潤君がU-15日本代表に選出され、2015年にチリで行われるU-17ワールドカップ出場権をかけてアジア予選を戦ってきます。また、一年生五名が国体選手に選ばれており、選手個々の評価も上がってきています。

十月中旬から高校サッカーの集大成ともいえる全国高校サッカー選手権新潟県大会が始まりますが、チームとして満足すること無く、常にチャレンジする気持ちや忘れずに予選に挑みたいと思っております。そして勝つことだけを目標とするのではなく、明訓生としての誇りと自覚を常にもたせられるよう指導して参ります。同窓会の方々におかれましては、これまでと変わらぬ温かいご声援とご支援をお願いいたします。

剣道部 7年ぶりの全国大会 大きな1勝

剣道部顧問 玉虫 一憲

高校生にとって、最も大きな祭典「全国高校総体（インターハイ）」。

毎年、全国の高校の各運動部がここを目指して日々、努力している。そして、今年、新潟明訓高校剣道部は男子団体でその舞台に立つことができた。

今回のインターハイ出場は様々な思いが詰まるものでした。2011年1月、本校剣道部は男子団体で、県予選を突破し春の全国高校選抜大会への出場権を獲得した。大会が迫り対戦相手も決まっております。部員の士気も高まっております。しかし、3月に発生した東日本大震災の影響で全国大会は中止された。その年の4月に入学してきたのが現在の3年生達でした。全国大会中止と

いう異例の事態でありましたが、部員たちは決してあきらめず志をさらにたくもって日々の練習に取り組んでいました。

2年生の時には、インターハイは地元新潟で開催されたが、男女団体では健闘むなしく出場権獲得はならなかったが、個人戦において男子2名が出場し、全国での舞台に立つことができました。そして、いよいよ最終学年。

春の全国選抜大会県予選では決勝まで駒を進めたものの、ライバル校新潟商業に惜敗し、残るはインターハイのみ。インターハイ予選前は毎週遠征を行い高校最後の切符を取るためにぎりぎりまで追い込みました。インターハイ予選当

日は、選手の気合いも十分で順調に決勝まで勝ち進み、決勝戦の相手は全国選抜予選で負けている新潟商業。試合も緊迫し、5人が戦っても勝負がつかず、結果は代表選へともつれ込みます。1時間及以上ぶ接戦の末、大将であり、主将である新飯田が胴を決めて勝利をおさめ、7年ぶりのインターハイ出場を決めました。当日は、多くのOB先輩や保護者が応援に来てくださり、勝利の感動をみんなで分け合いました。

そしてインターハイ本番。7月に神奈川遠征や九州遠征を行い、試合に臨みました。対戦相手は、和歌山県和歌山東高校と愛媛県帝京第五高校。両校とも、全国大会常連校で、特に和歌山東高校とはこれまで様々な遠征先で対戦してまいりました。インターハイは3校による予選リーグを行い、1位のみが決勝トーナメントに進みます。1試合目に和歌山東高校と対戦し1対2で惜敗



しました。次に和歌山東高校と帝京第五高校が対戦し和歌山東高校が勝利し、この時点で、明訓高校の予選リーグ突破はなくなりましたが、選手はもちろん応援にかけてくれた生徒・保護者も最後まで戦い、結果、2対1で勝利し大きな大きな全国での1勝をあげることができました。試合が終わった選手たちも悔し涙ではなく、自分たちの持てる力をすべて発揮してやり終えた満足した笑顔を浮かべていました。

今回のインターハイ出場できたことは明訓高校剣道にとって、これからの大きな糧となりました。私たちがやってきたことは十分に全国で通用することが証明できました。今回のインターハイ出場をゴールにするのではなく、新たなスタートとしてこれからもより一層精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、今回のインターハイ出場に際しまして応援をしてくださった多くの方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。これからも、日々努力を重ねていきますので、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。



準優勝した吉田留菜

6月の新潟県高校総体において、女子個人戦で本校部員が準優勝し、全国高校総体（インターハイ）への出場権を獲得することができました。なお、この部門では、昨年に引き続いて2年連続での全国大会出場となりました。

弓道部 2013 栄冠をつなぐ 北部九州総体に出場して

弓道部顧問 長井大輔

全国高校総体は、福岡県小倉市の西日本総合展示場特設弓道場におきまして、8月1日・2日に開催されました。開会式後に行われた個人予選は4射3中以上が通過のところ、結果は4射2中という、あと1本が悔やまれる結果に終わってしまいました。

多くの方々からご支援いただきましたこと、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。今後も練習に励み、さらなる活躍ができるよう精進して参りたいと思います。



会場前にて

今年度も新潟県を代表して全国大会に出場してきましたのでご報告させていただきます。文化部の全国大会は「全国高等学校総合文化祭」という名前となります。

今年度の出品者は二年生の栗原志穂で、仏壇の前で真正面を見据える祖母を撮影した作品でした。家族の団欒の様子を撮った写真はよく見かけるのですが、彼女の写真は白黒で、メッセージ性の強い作

写真部顧問 森本康裕

写真部 しおがせ総文祭に参加して

現在写真部は三年生を含め十一人で活動をしています。校舎内で活動している様子を目にする機会は少ないですが、週末を利用して撮影会に出かけたり、家族や親戚の写真撮影するなどして「作品づくり」に精を出しています。

今年度の開催は長崎県で、写真部門は長崎市が会場でした。七月三十日か



作品名『祖母』

す。日頃の活動を、通して、部員には「写真を通して感動を伝える」

品です。全国を代表する三百十六点の写真の中で上位三十位に相当する「奨励賞」を受賞しました。

写真部員は体育祭など、学校行事の際には「公式カメラマン」として、熱心に競技の様子を記録します。また、運動部の全国大会での活躍を記録することもあります。近年では十二月の京都で開催される、全国高校女子駅伝大会の出場報告リーフレットの写真撮影も担当

放送部

放送部顧問 山本祥寿

今年もおかげさまで二つの全国大会に出場することができました。一つはNHK全国高校

放送コンテストで、平成6年から20年連続で出場しています。もう一つは全国高等学校総

ばかりでなく、「写真を通して自分の思いを」表現できるように指導しております。

十月二十六日から二十九日まで、新潟県民会館にて新潟県高文連の写真専門部展が開催されます。是非、写真部の作品を直接会場で見たいだければ幸いです。

今後とも同窓会の諸先輩方からの温かいご支援をお願いいたします。ありがとうございます。



NHK全国高校放送コンテスト準々決勝、準決勝会場 オリンピック記念青少年総合センターにて集合写真

合文化祭で、こちらは平成9年から17年連続で出場しています。

放送部という部活動は、新潟県の中では生徒数が少なくマイナーな部活動です。生徒数だけで見た場合、新潟県は全国の都道府県の中の下から5番目くらいの生徒数です。従って、全国大会に出場すると、新潟県と他県とのギャップは激しく、圧倒されることもままあります。新潟県大会とは比べものにならないような高レベルの生徒たちの中での自分の発表や、突き刺さるような緊張感、じわじわ

と否が応でも感じる放送への情熱など、全国大会の場にいるだけでも、本校の生徒への大きな刺激となり、これからの部活動への意識を向上させるとも貴重な体験となったと感じました。

これで、今回全国の雰囲気を感じた生徒は、県大会を突破するということだけでなく、その先の全国で通用することができるようになったと思います。今年も全国大会では、残念ながら何も賞を受賞するに至りませんでした。ですが、新潟県が全国で入賞するノウハウを持っていないわけではなく、今年も新潟工業さんが番組部門で優良賞を受賞しましたし、本校も過

去には受賞経験がありません。今回の悔しさをバネに変えて生徒たちが今年以上に来年は頑張

張ってくれるもの期待您的支援ありがとうございます。ございました。

吹奏楽部

毎年夏に行われる新潟県吹奏楽コンクールは、私たち吹奏楽部にとってとても大切な行事です。それは、3年生が吹奏楽部員として演奏する最後のステージになるからです。

吹奏楽コンクールはAの部(55人までの編成)とBの部(30人までの編成)に分かれていて、明訓は部員が64名いることもあり、Aの部に出場しました。Aの部はともレベルが高く、明訓吹奏楽部はこれまで過去6回出場していますが、1度も金賞(出場団体の上位約30パーセント)を受賞したことはありません。

今年このコンクールに出場するにあたり、創部以来初めて作曲家の片岡寛晶先生に演奏曲を委嘱し、明訓のためだけのオリジナルの曲を書いていたいただきました。片岡先生は二〇〇八年度全日本吹奏楽コンクール課題曲「天馬の道」の作曲者として著名な若手作曲家、打楽器奏者で、当時明訓にご指導に来ていただいてから懇意にしてください。片岡先生は作曲するにあたり、明訓の定期演奏会でゲストとして共演しながらイメージをふくらませるなど大変熱心に、熱い思いで曲を作ってくださいました。そして完成した曲が「越後の歌」吹奏楽のためのファンタジー」です。

私たちのコンクールでの目標は「金賞」ですが、今回はそれ以上に「明訓だけの曲を明訓らしい演奏でお客さんに聴いていただく」



第54回新潟県吹奏楽コンクールで初めて金賞を受賞
【写真提供 (株) フォトライフ】

ことを最大の目標にして練習に励みました。まだ誰も演奏したことのない曲ですので、参考となる音源もありません。私たちは片岡先生が書いてくれた一つ一つの音符、その音符がつながることによってできる音楽の流れ、雰囲気を見分けて楽譜からつかみ取り、イメージを膨らませて曲

を作っていました。片岡先生にも二度直接ご指導いただきました。二度目は本番の直前で聴いていただいた後、「明訓のためにこの曲を作ったことによかった」とおっしゃってくださいました。私たちにあっては、私たちがとって本当に嬉しく幸せなお言葉でした。そして八月二日、新

潟県吹奏楽コンクールで私たちは出場二十団体中最後の演奏順で演奏しました。最後ということもあって、会場の新潟市民芸術文化会館コンサートホールはほぼ満席の状態でした。とてもたくさんのお客さんに演奏を聴いていただくことができました。そして本番では今まで練習してきたことを発揮し、心を込めて演奏することができました。大きな目標を達成できたと思います。

審査の結果、私たちの演奏は明訓吹奏楽部としては初めてAの部で金賞を受賞、そして新潟県代表として西関東吹奏楽コンクールに出場することが決まりました。全国大会への出場権がかかる西関東吹奏楽コンクールでは、残念ながら銅賞という結果で涙をのみましたが、全国レベルの学校と同じステージで演奏できたことは大変貴重な経験となりました。

明訓吹奏楽部にとつて、熱く、長い夏は終わりました。この夏の経験をとおして、音楽には技術はもちろんな必要であり、今の私たちに最も足りないものであることは十分理解しているのですが、やはり一番根本にあるものは表現しようとする心、自分たちの気持ちなのだということに身にしみてわかりました。私たちは心や気持ちの面では全国レベルの学校に負けていないかっと思っと思っています。

高校生でいたい。」と思っただことがあると思います。私たちが「引退なんてしたくない。」「ずっとこのダンス部について、みんなと一緒に踊っていたい。」という思いがありましたし、今もその思いは完全には消えていません。しかし、絶対にそれは不可能で、引退する時、卒業する時、皆と離ればなれになる時がきます。それが私たち高校生の運命です。その運命は覆らないと分かっていますが、つい現実から目を背けたくなる心の葛藤を作品に込めました。

ダンス部 全国大会を終えて

ダンス部主将 3年 新野 恵里

この度、私たちダンス部は八月に神戸で行われた第二十六回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)に出場し、特別賞を受賞することができました。

今回私たちが大会で踊ったのは、「運命にあらがう蛹(さなぎ)―おさまらぬ身体―」

という作品です。今年一月からテーマ探しを始めて、三年生が主体となつて作品を作り上げてきました。途中、お互いの意見が合わず創作活動が停滞してしまつたり、踊り込みの段階でどれだけ練習してもチームが一つになることができなかったり

と、悔しくてもどかしかった時期もありました。しかし、その都度作品や自分たちの課題と向き合い、どうすれば作品に込めた私たちの思いが伝わるのか何度も話し合いました。

この作品は、蛹が繭ごもりしている状態から蛾へと成長する姿を、私たち高校生に重ね合わせ、子どもと大人の狭間で揺れる私たちの不安定な心を表現しました。高校生なら誰も一度は「ずっと

高校生でいたい。」と思っただけで、結果発表で自分たちの名前を呼ばれた時は、驚きや嬉しき、信じられないという気持ちをごちゃ混ぜに

なり、皆ひたすら泣き叫んでいました。あの時の皆の歓声や景色は絶対に忘れられません。

三年生はこの夏の大会で引退となりました。私がダンス部として三年間過ごして学んだ一番大切なことは、「一人では生きていけない」ということだと思つて

います。今まで苦しくて折れそうになつたり、自分のあるべき姿を見失ってしまったことが何度もありました。それでもここまで来ることができたのは、共に泣き、笑い、ぶつかり、ずっと一緒に踊つていたいと思える仲間がいたからだと思えます。

その仲間と充実した日々を送ることができたのは、顧問の先生方の厳しくも愛のあるご指導や、保護者・卒業生の温かいサポート、そして多くの方々からの応援があったおかげです。今回、全国大会での特別賞受賞という形で皆様に恩返しでき



夢中で踊って「特別賞」受賞

たことを本当に嬉しく思います。たくさんのご声援と温かいご支援をいただき、本当にありがとうございました。

二度目の全国入賞 —7年目のいま思うこと—

ダンス部顧問 佐藤 菜美

明訓高校ダンス部の全国入賞は4年ぶり2回目となる。新潟県の高

校ダンス部は、全国的に見ても非常にレベルが高く、約90校の参加校から

毎年1〜2校は全国入賞を果たしており、各県の関係者から注目されている。本校ダンス部もその一つである。私がダンス部を担当してから7年目となるが、中高一貫生が中学校のダンスクラブから

継続し、高校の引退までやり遂げたのはこの3年生(二期生)が初めての学年となった。中学のダンスクラブから上がったきたIVコース(一貫生)に加え、高校から新たに加わった他コース(高入生)の生徒とともに互いに切磋琢磨してチームを作り上げてきた。その学年が率いたチームが全国入賞を果たしたことは、感慨深い思いがする。しかし、誰も成し遂げたことのない域に挑戦することは、数々の障壁を乗り越えねばならなかった。授業終了時間が各コースで異なるため、練習で全員がそろうのは17時。模試で土日が埋まったり、行事の時期がコース毎で異なったりして多くの制限があるなかで「チームとして」在ることは簡単ではない。また、ダンス部はIIIコースの当該クラブではないが、IIIコース種目に引けを取らないほどの練習量であったと思う。生徒も指導者も、ある種のプライド

を持ち、厳しい条件のなかで多くの犠牲を払いながらこれに懸けてきた。この明訓で、全国レベルのチームになるために、生徒は「明訓生のお手本となる」をモットーに、日頃より文武両道に努めた。実際のところ、それを完璧にやれた生徒がどれだけのいたのかは分からないが、生徒は相当の時間と労力を部活動に費やしながらも、進学校であり中高一貫校であるこの明訓に、一つの道筋を示してくれたと思つている。

全国大会までの過程を通して、改めて明訓は充実した設備環境のなかで、学校生活を送れているのだと実感した。また施設面だけでなく、教育に関心の高い保護会の存在は大きい。そのような恵まれた環境のもと、勉強は勿論、自分が夢中になれることと出会え、今しかできないこの瞬間を全力で走ることができるといことは、生徒にとって誇りである。進学校である明訓

の生徒は、やや頭でっかちで傷つきやすく、心身のバランスを崩しやすい傾向にあると感じている。心揺さぶられる体験や、机上では学べない生身の人間を相手にしたリアルなコミュニケーションを、今後も大切にしていきたいと思つている。

暑い中神戸まで足を運んでくださった保護者の皆様、自分たちの夢を後輩に託し熱く指導してくれた卒業生の皆、部活を言い訳にさせず勉強に取り組む姿勢を根気強く指導してくださる教職員の皆様、仲間として大きな期待を寄せてくれる明訓生の皆・・・多くの支えがあつてダンス部は立っていられることを忘れたくない。年々高まる周囲の期待に応えることは決して簡単ではないが、進化し続けるダンス部でありたい。多くのご声援をいただき誠にありがとうございました。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

終身会費納入者御芳名

(敬称略)

平成二十五年八月三十一日現在

平成25年卒
全日制64回

1組 (44名)

中永騰辻田高高高須鈴鈴佐齋小小兒小川片大宇岩今今石石安阿 1
矢井川川邊橋橋木藤木木藤藤林林玉出崎山屋野津井井村黒藤部
尚萌晶 寛成広雄詩優正貴重喜楓誠士郎大代香佑卓弘和人ゆかり奈津美実朗奈香

2組 (44名)

高高早関鈴杉白佐佐坂酒金加乙大太遠板 2
橋野福 木島川藤久間井井谷藤川野田藤倉 渡渡和吉横結山八三味藤橋拜西
孝 日千今日雄成陽菜鼓智美純綾春 邊辺田田堀城崎木野二方倉本野山川
典彰誠乃賀子生浩舜子摘優美之季平香奈 陽俊芽雄康創孝沙マリマリア帆月貴遥

3組 (45名)

伊伊石石阿安穂 3
藤藤田井部城保 (45名)
洋光 惇駿由衣

渡渡渡和鷺和若保八宮松町増細布福廣早二南仲中永豊常東
邊邊邊田尾井井田木内嶋屋子貝施田澤川川宮場村川井島盤城
窓穂浩宗美美啓有有裕葵さつき 亮紫優 友 章 万 彩 憂 正 直
花野章 郎 裕 甫 太 真 紀 彩 香 太 苑 悟 輝 舞 紀 萌 平 子 香 美 悟 樹

4組 (43名)

石石石飯 4
附塚井岡 (43名)
知啓翔詩
也太郎太織

渡渡青山山柳宮南丸吉福広長長箱西中外土竹高高鈴新佐佐佐佐佐酒坂桑木亀角大猪
辺邊田中際 島 山弘田川川川田尾本川田田野橋橋見保藤藤藤藤藤木井井野村夜平
智こ恵雅惇祐誠祥史崇治優晴直建 純奈津 慈和梨佑 伸慎胡 貴英理子誠惠子奈緒香
哉とみ果史也志郎之織滉樹也奈人太光平香峻陸彦也妙介蓮遼哉吉桃謙惠子子誠遼香

5組 (42名)

有阿安 5
磯部達 (42名)
ゆりえ 友吏子汀

山山森堀帆藤樋原波畑野中長永土谷只笹佐齋齋小小兒久楠金川金賀鏡大大大大内内井
下崎 田苺崎口野野崎原井井田澤野山木藤藤股林林玉住 崎子川淵桃塚竹澤山山田
絢岳 真玲貴祐悠七優勇元智竜大来泰直美 遼泰英朋拓将千由あさひ 悠龍之介道輝海輔也
栗紀陽誠吾央史太未佳輝樹晴士也樹海等也紗歩樹爾仁恵毅也輝晶佳ひ歩生介

6組 (41名)

阿淺秋 6
部井永 (41名)
清悠彩
明希乃

渡渡渡吉山山三松古藤福深平半中津田橘竹高高清嶋櫻齋雜後川金加大大宇今稲稲石五十
邊邊邊田田崎澤原山木地井野藤山木恵謙暖 沙緩基由さつき 晃垂由未樹太里幸生り花朗美美介
あ秋翔詩佑 恵 謙 暖 沙 緩 基 由 さ つ き 晃 垂 由 未 樹 太 里 幸 生 り 花 朗 美 美 介
和すか穂平乃奈佳魁綾優太佑人望映奈徳佳き薫輔未樹太里幸生り花朗美美介

7組 (27名)

右伊五阿 7
近藤嵐部 (27名)
明智真碧
人菜優衣

綿見松早二戸谷田武竹高高高関須須鈴鈴島洪佐佐齋五福小兒小金木北亀金加岡井犬板阿
屋田坂津瓶田澤中田内山橋橋場藤田木木田谷藤藤藤味井林玉井部原山子藤部上井倉部
直豪泰和梓直健颯周柚奈洋 湧百広悠健亮光郁栄実菜々海 幸いずみ 悠樹太里幸生り花朗美美介
人介生輝紀秀一人都花央介平森音樹大郎介輝也輝香海

8組 (35名)

酒齋近小小桑加大大植岩石石五十五十五十安赤 8
井藤藤林柴原藤森野木崎附井井嵐嵐嵐藤塚 (35名)
鴻瑞ち八慎智美浩花 晃夕龍将実航幹美晴
大生ろ絃平実樹恋司大子介宏咲平菜和海

渡渡和山皆本帆樋波長田杉白佐坂齋小態木柄小岡内
邊邊田本川間苺口野岡村山井木詰藤林倉村澤山山
由泰竜 友幸いずみ 悠樹太里幸生り花朗美美介
理輝晴蓮直朗貴み樹舞太子香

9組 (42名)

田田武竹袖佐佐小小神金門加梶大内今石石池池幾東淺青 9
村中樋石山野藤山見泉田子野藤原信山井山川田田野 井柳 (42名)
太祐走智宗健圭常 龍佳翔聖 広 千陽 悠夏健 悠七
征太太弥吾司太泰優太毅馬流諒美翼夏亮健悠平史太晋佑奈

渡驚横宮南丸樋樋羽中内常田高佐佐
邊津川嶋 田山口田原藤田辺橋藤
千里葉正柘雄貴沙耶香莉太氣兒はるか奈夏
穂子月和海己一香

10組 (40名)

林永高高清清鈴佐小小小川小荻小岩入伊石伊五五五井阿相 10
井本橋野野木木林杉海合畑野川橋澤丹井川嵐嵐嵐浦部澤 (40名)
康 湧 千 小 沙 翔 秀 啓 佑 裕 宏 菜 彩 優 洋 悠 優 未 大 翔 菜 高
寛悠生諒尋 太郎 梧 太 樹 太 樹 海 空 花 介 衣 輝 潤 来 陸 子 凜 也 涼

渡渡吉宮南松町本藤馬馬長野野野田
邊辺田島 尾田間嶋場場 川谷川々瀬口村
大 尚 彩 亮 拓 千 郁 美 渚 浩 光 琢
史晃輝巧花太也晶磨聡子慎平平巴亮

同窓会ホームページと交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、ホームページ内に「交流掲示板」を開設しましたので、このサイトは明訓同窓生の部活、OB、OGの活動情報や同期会情報など自由な情報交換の場としてご利用下さい。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com/index.html>

水本本古藤福深原
野間間田村島谷
彩大志悠彩な圭悠
菜貴穂真華み市郎輔

渡渡渡山山築
辺邊邊本田取
桃 遼悠
李健梓弥暉孝

大大遠遠上井有11組
塚竹藤藤原上田(40名)
克 優加璃歩貴
哉俊宏菜央南裕

佐佐佐齋齋小小熊熊木鹿
藤藤藤藤藤林池倉倉下沼
大友彩真里 英雄翔
貴紀弥未香 於翔唯記介悟

波中田田田竹高関菅下佐
多野澤 部中田本根沼井藤
貴亮泰知祥晴裕 実建亮
之也然歌平佳生悠祝生太

渡渡渡山山山矢星平林
邊辺辺本本内沢山井
梨望翔敦桃浩秀堯沙純
沙実太史子郎哉之加恵平

平成二十四年度 会費納入状況

◎入会金

全日制64回生 443名

四四二、〇〇〇円

◎終身会費

全日制64回生 443名

二、二一五、〇〇〇円

◎合計

二、六五八、〇〇〇円

会務報告

一 会議

(一) 総会

平成24・10・20(土) 16:00

於 ANAクラウンプラザ

ホテル新潟

・アトラクション 17:00

「明訓高校吹奏楽部による演奏」

・懇親会 17:30

(二) 常任委員会

平成25・7・10(土) 18:30

於 ANAクラウンプラザ

ホテル新潟

・常任委員改革・拡大委員会からの報告

・平成25年度 総会開催について
協議

平成25・9・19(木) 18:30

於 ANAクラウンプラザ

ホテル新潟

・平成25年度 総会開催について
協議

(三) 副会長会議

平成24・10・9(火) 18:30

於 新潟会館

・平成24年度 総会開催運営について協議

平成24・12・3(月) 18:30

於 新潟会館

・総会運営についての反省会

・首都圏・関西新潟明訓会 総会開催の報告

平成25・2・21(木) 17:30

於 ホテルイタリア軒

・平成25年度総会並びに同窓会歓迎会及び卒業式について協議

・新年懇談会(学校管理者及び同窓会担当教職員の方々を招いて)

平成25・6・11(火) 18:30

於 新潟会館

・常任委員会・総会開催について協議

平成25・9・3(火) 18:30

於 新潟会館

・常任委員会・総会開催について協議

平成25・9・6(土) 12:30

於 太閤園

・関西新潟明訓会総会・懇親会が開催される

・本部より大倉副会長、首都圏新潟明訓会より秋葉会長が出席、学校より伴理事長の出席をいただく

平成24・11・3(土) 12:30

於 帝国ホテル 蘭の間

・首都圏新潟明訓会設立25周年記念総会・懇親会が開催される

・本部より林・渡邊(淳) 両副会長、関西新潟明訓会より阿部副会長が出席、学校より伴理事、大滝学校長の出席をいただく